

## 安全データシート

## ジクロロニッケル(II)

改訂日: 2024-05-09 版番号: 1

## 1. 化学品及び会社情報

## 製品識別子

製品名	: ジクロロニッケル(II)
CB番号	: CB0116468
CAS	: 7718-54-9
EINECS番号	: 231-743-0
同義語	: 塩化ニッケル, 二塩化ニッケル

## 物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途	: 研究開発用途にのみ使用。医薬品、家庭用品、その他の用途には使用しないでください。
推奨されない用途	: なし

## 会社ID

会社名	: Chemicalbook
住所	: 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟
電話	: 400-158-6606

## 2. 危険有害性の要約

## 2.1 GHS分類

皮膚感作性(区分1), H317
水生環境有害性 短期(急性) (区分1), H400
このセクションで言及されたH-ステートメントの全文は、セクション 16 を参照する。
水生環境有害性 長期(慢性) (区分1), H410
特定標的臓器毒性(反復ばく露), 吸入(区分1), 肺, H372
生殖毒性(区分1B), H360
発がん性, 吸入(区分1A), H350
生殖細胞変異原性(区分2), H341
皮膚腐食性/刺激性(区分2), H315
急性毒性, 吸入(区分3), H331
急性毒性, 経口(区分3), H301
呼吸器感作性(区分1), H334

## 2.2 注意書きも含むGHSラベル要素

## 絵表示

GHS06	GHS08	GHS09

#### 注意喚起語

危険

#### 危険有害性情報

- H301 + H331 飲み込んだ場合や吸入した場合は有毒。
- H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
- H341 遺伝性疾患のおそれの疑い。
- H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。
- H372 長期にわたる、又は反復ばく露（吸入）による臓器（肺）の障害。
- H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。
- H350 吸入すると発がんのおそれ。
- H334 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。
- H315 皮膚刺激。

#### 注意書き

#### 安全対策

- P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
- P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- P260 粉じんを吸入しないこと。
- P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- P273 環境への放出を避けること。
- P284 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
- P280 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。
- P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
- P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

#### 応急措置

- P304 + P340 + P311 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。
- P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察 / 手当てを受けること。
- P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断 / 手当てを受けること。
- P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
- P301 + P310 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
- P391 漏出物を回収すること。

#### 保管

- P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- P405 施錠して保管すること。

#### 廃棄

- 専門的な使用者に限定。
- P501 内容物 / 容器を承認された処理施設に廃棄すること。

### 2.3 他の危険有害性

なし

---

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 化学物質
化学特性(示性式、構造式 等)	: $\text{Cl}_2\text{Ni}$
分子量	: 129.60 g/mol
CAS番号	: 7718-54-9
EC番号	: 231-743-0
化審法官報公示番号	: 1-242
安衛法官報公示番号	: -

---

### 4. 応急措置

#### 4.1 必要な応急手当

##### 一般的アドバイス

応急措置担当者は自分が暴露しないよう、適切な防護を行う。この安全データシートを担当医に見せる。

##### 吸入した場合

吸入後は新鮮な空気を吸うこと。ただちに医師の診察を受けること。呼吸停止時はただちに人工呼吸を実施し、必要に応じて酸素も吸入する。

##### 皮膚に付着した場合

皮膚に接触した場合: すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。医師に相談する。

##### 眼に入った場合

眼に触れた後は多量の水ですすぐこと。眼科医の診察を受けること。コンタクトレンズをはずす。

##### 飲み込んだ場合

飲み込んだ場合は水を飲ませる(多くても2杯)。ただちに医師の診察を受けること。1時間以内に治療を受けられないという例外的な状況のみ、嘔吐させ(相手に完全に意識のある場合のみ)、活性炭(10%懸濁液に20~40g)を投与してできるだけ早く医師の診察を受ける。

#### 4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

もっとも重要な既知の徴候と症状は、ラベル表示(項目2.2を参照)および/または項目11に記載されている

#### 4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

データなし

---

### 5. 火災時の措置

#### 5.1 消火剤

##### 適切な消火剤

水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素を使用すること。

#### 5.2 特有の危険有害性

不可燃性である。

周辺の火災で有害な蒸気を放出することがある。

ニッケル / ニッケル酸化物

塩化水素ガス

### 5.3 消防士へのアドバイス

自給式呼吸器がある場合のみ危険区域に留まってもよい。安全なゾーンまで離れるか適切な保護衣を着用して、皮膚に触れないようにすること。

### 5.4 詳細情報

ガス / 蒸気 / ミストを水スプレージェットで抑える（除去する）。消火水が、地上水または地下水のシステムを汚染しないようにする。

---

## 6. 漏出時の措置

### 6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

救急隊員以外への助言: いかなる場合も、ほこりを生じさせたり吸い込んだりしないようにすること。触れないようにすること。十分な換気を確保する。危険なエリアから避難し、緊急時手順に従い、専門家に相談のこと個人保護については項目 8 を参照する。

### 6.2 環境に対する注意事項

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

### 6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

排水溝に蓋をすること。こぼれたら集めて結合させ、ポンプですくい取る。物質の制限があれば順守のこと (セクション 7、10参照) 慎重に行うこと。適切に廃棄すること。関連エリアを清掃のこと。ほこりが生じないようにすること。

### 6.4 参照すべき他の項目

廃棄はセクション13を参照。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 7.1 安全な取扱いのための予防措置

#### 安全取扱注意事項

換気フードの下で作業すること。吸い込まないこと。

#### 衛生対策

汚した衣類はただちに替えること。予防的な皮膚保護を講じること。本物質を取り扱った後は手と顔を洗うこと。注意事項は項目2.2を参照。

### 7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

#### 保管クラス

保管クラス (ドイツ) (TRGS 510): 6.1D: 不燃性、急性毒性カテゴリ3 / 毒性危険物または慢性効果を引き起こす危険物

#### 保管条件

密閉のこと。乾燥。換気のよい場所で保管する。鍵をかけておくか、資格のあるまたは認可された人のみが入り出できる場所に入れておく。

### 7.3 特定の最終用途

項目1.2に記載されている用途以外には、その他の特定の用途が定められていない

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 8.1 管理濃度

コンポーネント別作業環境測定パラメータ

ACL: 0.1 mg/m<sup>3</sup> - 作業環境評価基準、健康障害防止指

TWA: 0.1 mg/m<sup>3</sup> - 米国。ACGIH限界閾値 (TLV)

### 8.2 曝露防止

#### 適切な技術的管理

汚した衣類はただちに替えること。予防的な皮膚保護を講じること。本物質を取り扱った後は手と顔を洗うこと。

#### 保護具

##### 眼 / 顔面の保護

NIOSH (US) または EN 166 (EU) などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた眼の保護具を使用する。保護眼鏡

##### 皮膚及び身体の保護具

本推奨は、当社発行の安全データシートに記載されている製品およびその指定の使用法のみ適用される。溶解、他の物質との混合、および EN374 に記載の逸脱条件での使用については、CE 認証手袋のサプライヤに問い合わせのこと(例. KCL GmbH, D-36124 Eichenzell, Internet: [www.kcl.de](http://www.kcl.de))

フルコンタクト

材質: ニトリルゴム

最小厚: 0.11 mm

破過時間: 480 min

試験物質: KCL 741 Dermatril® L

本推奨は、当社発行の安全データシートに記載されている製品およびその指定の使用法のみ適用される。溶解、他の物質との混合、および EN374 に記載の逸脱条件での使用については、CE 認証手袋のサプライヤに問い合わせのこと(例. KCL GmbH, D-36124 Eichenzell, Internet: [www.kcl.de](http://www.kcl.de))

飛沫への接触

材質: ニトリルゴム

最小厚: 0.11 mm

破過時間: 480 min

試験物質: KCL 741 Dermatril® L

##### 身体の保護

##### 保護衣

##### 呼吸用保護具

リスクアセスメントによりろ過式呼吸用保護具が適切であると示されている場所では、工学的制御のバックアップとして、N100型 (US) または P3型 (EN 143) 呼吸用保護具カートリッジ付き全面形呼吸用保護具を使用する。呼吸用保護具が唯一の保護手段である場合、全面形送気マスクを使用する。NIOSH (US) または CEN (EU) などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた呼吸用保護具および部品を使用する。

##### 環境暴露の制御

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

## 9. 物理的及び化学的性質

### Information on basic physicochemical properties

物理状態	粉末
色	淡緑色
臭い	データなし
融点 / 凝固点	融点: 1,001 °C
沸点, 初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性 (固体、気体)	この製品はGHS分類の可燃性ではない。 - 引火性 (固体)
引火上限/下限または爆発限界	データなし
引火点	非該当
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
粘度	動粘度 (動粘性率): データなし 粘度(粘性率): データなし
水溶性	642 grm/l at 20 °C - 完全に溶ける
n-オクタノール / 水分配係数 (log 値)	無機の物質には該当しない
蒸気圧	データなし
密度	3.55 g/mL at 25 °C - lit.
比重	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
爆発特性	データなし
酸化特性	なし
データなし	

### 9.2 その他の安全情報

データなし

## 10. 安定性及び反応性

### 10.1 反応性

データなし

### 10.2 化学的安定性

標準的な大気条件(室温)で化学的に安定。

### 10.3 危険有害反応可能性

アルカリ金属

次と激しく反応

## 10.4 避けるべき条件

情報なし

## 10.5 混触危険物質

データなし

## 10.6 危険有害な分解生成物

火災の場合:項目5を参照

---

# 11. 有害性情報

## 11.1 毒性情報

### 急性毒性

経皮: データなし

LC50 吸入 - ラット - オス - 4 h - 0.593 mg/l - 粉じん/ミスト

(OECD 試験ガイドライン 401)

LD50 経口 - ラット - メス - 175 mg/kg

LC50 吸入 - 4 h - 0.51 mg/l - 粉じん/ミスト

(OECD 試験ガイドライン 403)

### 皮膚腐食性 / 刺激性

(EU) 1272/2008規則, Annex VI (Table 3.1/3.2)に基づく分類

### 眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

(OECD 試験ガイドライン 405)

結果: 眼への刺激なし - 168 h

眼 - ウサギ

### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

(EU) 1272/2008規則, Annex VI (Table 3.1/3.2)に基づく分類

### 生殖細胞変異原性

ヒトの疫学的検査(吸入)で陽性反応

試験タイプ: 遺伝子突然変異試験

テストシステム: ほ乳類細胞

代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在

結果: 陽性

試験タイプ: 染色体異常試験

結果: 陽性

備考: 発がん性

投与経路: 腹腔内

種: マウス

方法: OECD 試験ガイドライン 473

遺伝性疾患のおそれの疑い。

備考

### 生殖毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

備考: (EU) 1272/2008規則, Annex VI (Table 3.1/3.2)に基づく分類

胎児への悪影響のおそれ。

吸入 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。 - 肺

**誤えん有害性**

データなし

## 11.2 追加情報

胃腸不全, 化学的、物理的および毒性学的性質の研究は不十分と考えられる。

かにリスクが低い。

本品は特に慎重に取り扱うこと。

その他の危険な特徴を除外してはならない。

ける度合いによって、ニッケルとその化合物の発癌性は異なるが、すぐに溶けるニッケル化合物は明ら

可溶性のニッケル化合物に概ね該当: 無機ニッケルには粘膜の収斂作用がある。影響を受けやすい人は、

**RTECS: QR6475000**

感作によりアレルギーを発現することがある。ニッケル性皮膚炎そのものが生じる場合もある。水に溶

---

## 12. 環境影響情報

### 12.1 生態毒性

**魚毒性**

半静止試験 LC50 - *Oncorhynchus mykiss* (ニジマス) - 15.3 mg/l - 96 h

備考: (ECHA)

ミジンコ等の水生無脊

止水式試験 LC50 - *Ceriodaphnia dubia* (ミジンコ) - 0.013 mg/l - 48 h

**椎動物に対する毒性**

備考: (ECHA)

**藻類に対する毒性**

止水式試験 ErC50 - 緑藻 - 0.243 mg/l - 72 h

(OECD 試験ガイドライン 201)

### 12.2 残留性・分解性

生分解性の判定方法は無機物質には適用されない。

### 12.3 生体蓄積性

生物濃縮因子 (BCF) : 4

- 1000 µg/l(塩化ニッケル(II))

生体蓄積性 *Oncorhynchus mykiss* (ニジマス) - 180 d

### 12.4 土壌中の移動性

データなし



## 12.5 PBT および vPvB の評価結果

化学物質安全性評価が必要ではない/行っていないため、PBT/vPvB評価データはない。

## 12.6 内分泌かく乱性

データなし

## 12.7 他の有害影響

環境への放出は必ず避けなければならない。

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

---

# 13. 廃棄上の注意

## 13.1 廃棄物処理方法

製品

内容及び容器は、関連法規及び各自治体の条例等の規制に従い、産業廃棄物として適切に処理すること。

---

# 14. 輸送上の注意

## 14.1 国連番号

ADR/RID (陸上規制) : 3288 IMDG (海上規制) : 3288 IATA-DGR (航空規制) : 3288

## 14.2 国連輸送名

IATA-DGR (航空規制) : Toxic solid, inorganic, n.o.s. (nickel(II) chloride)

IMDG (海上規制) : TOXIC SOLID, INORGANIC, N.O.S. (nickel(II) chloride)

ADR/RID (陸上規制) : TOXIC SOLID, INORGANIC, N.O.S. (塩化ニッケル(II))

## 14.3 輸送危険有害性クラス

ADR/RID (陸上規制) : 6.1 IMDG (海上規制) : 6.1 IATA-DGR (航空規制) : 6.1

## 14.4 容器等級

ADR/RID (陸上規制) : III IMDG (海上規制) : III IATA-DGR (航空規制) : III

## 14.5 環境危険有害性

ADR/RID: 該当 IMDG 海洋汚染物質(該当・非該当): IATA-DGR (航空規制) : 非該当

該当

## 14.6 特別の安全対策

なし

## 14.7 混触危険物質

---

# 15. 適用法令

## 15.1 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

### 国内適用法令

#### 消防法:

危険物に該当しない。

#### 毒物及び劇物取締法:

非該当

### 労働安全衛生法

#### 特定化学物質障害予防規則:

第二类物質- 塩化ニッケル(II)

#### 有機溶剤中毒予防規則:

非該当

#### 名称等を表示すべき危険物及び有害物:

法第57条 (施行令第18条) - 塩化ニッケル(II)

#### 名称等を通知すべき危険物及び有害物:

法第57条の2 (施行令別表第9) - 塩化ニッケル(II)

#### 化学物質排出把握管理促進法:

特定第1種指定化学物質 - ニッケル

### 化審法

優先評価化学物質

---

## 16. その他の情報

### 略語と頭字語

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

IATA: 国際航空運送協会

IMDG: 国際海上危険物

LC50: 致死濃度 50%

RID: 鉄道による危険物の国際運送に関する規則

STEL: 短期暴露限度

LD50: 致死量 50%

EC50: 有効濃度 50%

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

TWA: 時間加重平均

### 参考文献

【1】労働安全衛生法 ウェブサイト <https://www.mhlw.go.jp>

【2】化学物質審査規制法（化審法） <https://www.env.go.jp>

【3】化学物質排出把握管理促進法（PRTR法） <https://www.chemicoco.env.go.jp>

【4】NITE化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIP） <https://www.nite.go.jp/>

【5】カメオケミカルズ公式サイト <http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple>

【6】ChemIDplus、ウェブサイト <http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp>

【7】 ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト <https://echa.europa.eu/>

【8】 eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイト [http://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request\\_locale=en](http://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request_locale=en)

【9】 ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイト <http://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg>

【10】 有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイト <http://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp>

【11】 HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト <https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm>

【12】 IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト <http://www.iarc.fr/>

【13】 IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイト <http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home>

【14】 Sigma-Aldrich、ウェブサイト <https://www.sigmaaldrich.com/>

**免責事項:**

本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。